

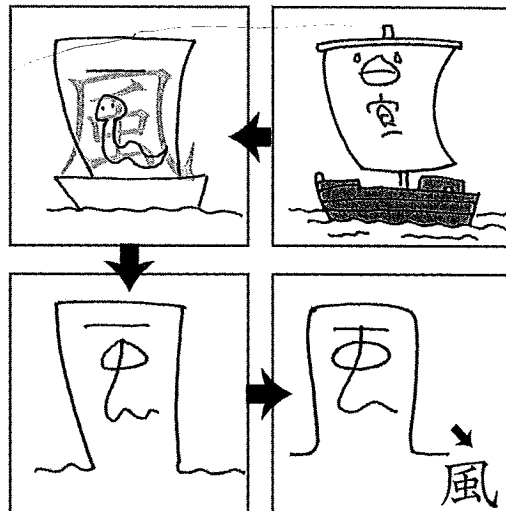
二年

圖9  
習せん  
聊まえ



二年

圖9  
習フウ・フ  
聊かせ・かざ



「止」と、「月（舟という字が変わったもの）」  
と、「リ（刀）」とを組み合わせた字です。「止  
めてあった舟のともづなを切り、舟を「前」に進  
める」ことを表します。「前」や「進める」の意  
味に使われます。

**熟語例**  
前日 前日の日  
直前 直前すぐ前  
※「月」には、「舟月（舟という字が変わったもの）」  
「肉月（肉という字が変わったもの）」「月扁（本当の  
月）の三つの使い方があります」[122頁参照]。「服  
は、人をつかまえて、力づくで従える」ことを表し  
た「服」に「舟」の形を表した「月」を加えた字で  
す。戦でとらえた兵士に力づくで、舟をこぐ仕事を  
させることを意味します。それで、「舟をこぐ仕事  
に「従う」ことで、「従う」の意味に使われます。ま  
た、「着物」はいつも、「体につき従っている」ので、「着  
物」の意味にも使われます。熟語例 服従、衣服

帆かけ船の「帆」の形を表した「凡（ふう）」  
と、「虫」とを組み合わせた字です。春風が吹き  
始めると、どこからともなく虫が現れてきます。  
昔の人は、それは、「風」が虫を運んでくるに違  
いないと考えました。そこで、船を運ぶ「帆」を  
表す「凡」と、「虫」を組み合わせて「風」を表  
しました。

**熟語例**  
風上 風が吹いて来る方向  
強風 強く吹く風

**同時に覚えるといふ字**  
「蚕」は、「天」と「虫」とを組み合わせた字です。  
昔、貴重な物とされた絹糸を作りだす虫であるこ  
とから、「天から授けられた虫」という意味で作られ  
ました。熟語例 蚕室、養蚕